

授業科目 大学英語入門Ⅰ・Ⅱ

【担当教員名】 小野昭一 高橋正夫 五十嵐紀子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期・後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】
客観的な事実に基づいて書かれた健康と科学に関する話題の英文を読むことで、リーディング力の向上を図ると共に、リスニング、ライティングの活動も行う。

【学習目標】
テキストは、健康と科学に関する日常生活に密着した興味深い内容の英文を扱っている。授業では次のことを重点的に学習する。
① 内容を理解しようという意欲を高めながら、読解力を養う。
② 医学、科学用語が出てくるが、いずれも本学学生の教養として知っておくべき語彙である。これらを文脈の中で習得する。
③ 音読やディクテーションなどの音声面に関わる活動、和文英訳なども取り入れることにより、総合的な英語力の向上を図る。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義と演習、適宜小テスト
2	Medical truth (医学的な真実)		
3	TV makes you fat (テレビを見ると太る?)		
4	Fever (人体の不思議-発熱)		
5	Melatonin and jet lag (メラトニンと時差ボケ)		
6	How maggots cure (うじ虫を使った治療)		
7	The ABC of CPR (心肺機能蘇生法)		
8	Melatonin (不思議なホルモン-メラトニン)		
9	Caffeine (カフェインは危険なアルカイド?)		
10	How you regulate heat (人体の不思議-体温)		
11	TV lies well (テレビではうそがわかりにくい?)		
12	Broccoli (ブロッコリーは万能薬?)		
13	Is Mr Smith heavier than Mr Tailor? (スミスさんはテーラーさんより重い?)		
14	Television and violence (幼児期にテレビを見過ぎると攻撃的になる?)		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	New Moments in Science, Karl Kruszelnicki/Hidehiko Konaka, 成美堂, 2004年発行 1,800円			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 定期試験、小テスト、授業への参加の観点から総合的に評価する。	【履修上の留意点】 予習をしてあることを前提に授業を進めるので、予習を怠らないこと。
--	---